

日本で稼働中の原発は泊原発3号機だけ。5月には全原発が停止します。なのに...  
伊方原発が再稼働への突破口にされる危険が迫っています！

## 伊方原発の再稼働に反対する中国・四国・九州市民の 合同緊急集会および愛媛県への申し入れ

東南海・南海地震で伊方原発がフクシマになる前に立ち上がろう！

伊方原発再稼働を止めるため各地からの知恵と力を持ち寄り討論しましょう！松山で会いましょう！

集 会：2012年4月15日(日) 13:30~17:00

場 所：愛媛県美術館講堂 愛媛県松山市堀之内 電話 089-932-0010

ゲスト：藤田祐幸(ふじた・ゆうこう) 元慶応義塾大学法学部助教授(科学哲学)

小倉 正 原発さよなら四国ネットワーク 他

申し入れ：2012年4月16日(月) 10:00から愛媛県庁へ申し入れ

連絡先：大野(080-5662-6207)、小坂(090-1348-0373)

交流会：2012年4月15日(日) 19:00~ 松山ユースホテル(要事前申し込み)

宿 泊：松山ユースホテル(3200円朝食付きで20人可能) ほか

愛媛県松山市道後姫塚乙22-3 電話 089-933-6366

※交流会・宿泊のお申し込みは大野(080-5662-6207)まで

5月5日に北海道電力泊原発3号機が定期検査に入るため、5月6日以後全ての原発が停止状態になります。政府は「このまま全ての原発が停止すれば夏の電力需要をカバーできない」という理由でしゃにむに大飯原発3、4号機か伊方原発3号機の再稼働をもくろんでいます。しかし、大飯3、4号機の再稼働に対して京都府知事と滋賀県知事は難色を示していて、「両知事の理解がなければ再稼働は無理」と枝野経産大臣も3月30日の記者会見で認めています。そうなれば最初の再稼働は周辺自治体で誰も反対していない伊方3号機しかありません。

しかし、伊方は日本で唯一の内海に面した原発で、これから起こるといわれている東海・東南海・南海地震により震度6以上の巨大地震に見舞われる可能性が大きいのです。また日本で一番大きな活断層の中央構造線のすぐそばに建っています。そのうえ伊方原発は日本で一番耐震設計のお粗末な原発です。日本で一番危険な原発をコンピューターシミュレーションの1次ストレステストだけで再稼働させるなど、私たち周辺住民は決して許すことはできません。原子力安全委員会の斑目委員長も「1次ストレステストだけでは安全性は不十分」と指摘しています。何よりも福島原発事故の原因も解明されていないのに再稼働などあり得ない話です。

そんな私たちのような新たな周辺住民の不安の声を愛媛県知事に直接届けて、近隣の県民や知事や市長の再稼働に反対する声をいかにして出すかなどの議論を行う初めての中国・四国・九州の市民による合同集会を開催するものです。ぜひご参加願います。伊方原発再稼働は決して他人事ではありません。

脱原発大分ネットワーク事務局長 小坂正則

大分市田の浦12組

電話・FAX 097-532-3772 E-mail: nonukes@able.ocn.ne.jp